

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	30,000	30,003	△ 3
基本財産受取利息	30,000	30,003	△ 3
② 特定資産運用益	7,569	7,562	7
特定資産受取利息	7,569	7,562	7
③ 事業収益	318,204,400	326,941,160	△ 8,736,760
埋蔵文化財発掘調査事業収益	158,790,000	172,830,000	△ 14,040,000
埋蔵文化財出土品整理事業収益	139,030,000	133,550,000	5,480,000
管理運営事業収益	14,882,400	14,636,160	246,240
その他事業収益	5,502,000	5,925,000	△ 423,000
④ 雑収益	583,530	459,970	123,560
雑収入	583,530	459,970	123,560
経常収益計	318,825,499	327,438,695	△ 8,613,196
(2) 経常費用			
① 事業費	275,560,685	285,532,842	△ 9,972,157
報酬	7,959,374	7,978,434	△ 19,060
給料	43,742,985	43,081,712	661,273
職員手当	28,227,327	27,449,846	777,481
共済費	12,849,552	12,809,328	40,224
賃金	80,781,589	86,532,909	△ 5,751,320
報償費	249,500	400,200	△ 150,700
旅費	1,757,697	1,666,292	91,405
需用費	17,786,214	18,596,533	△ 810,319
役務費	1,973,840	1,884,421	89,419
委託料	7,844,521	6,271,680	1,572,841
使用料及び賃借料	49,703,781	56,861,986	△ 7,158,205
備品購入費	0	0	0
負担金	0	29,170	△ 29,170
公租公課	2,200	3,000	△ 800
福利厚生費	0	50,468	△ 50,468
退職給付費	8,127,665	7,090,069	1,037,596
消費税	14,554,440	14,826,794	△ 272,354
② 管理費	43,264,814	41,905,853	1,358,961
報酬	0	148,000	△ 148,000
給料	12,468,015	12,412,200	55,815
職員手当	6,743,874	6,975,057	△ 231,183
共済費	4,955,198	4,675,744	279,454
賃金	4,991,748	4,848,458	143,290
報償費	172,800	232,800	△ 60,000
旅費	404,041	547,175	△ 143,134
需用費	6,012,493	5,267,359	745,134
役務費	1,544,554	1,292,192	252,362
委託料	540,000	49,757	490,243
使用料及び賃借料	935,951	968,849	△ 32,898
負担金	51,000	79,620	△ 28,620
公租公課	1,000	400	600
福利厚生費	1,020,058	867,330	152,728
退職給付費	988,422	1,092,706	△ 104,284
消費税	2,435,660	2,448,206	△ 12,546
経常費用計	318,825,499	327,438,695	△ 8,613,196
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	3,030,837	3,030,837	0
一般正味財産期末残高	3,030,837	3,030,837	0
II 指定正味財産の部			
基本財産運用収益	30,000	30,003	△ 3
一般正味財産への振替額	△ 30,000	△ 30,003	△ 3
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	13,030,837	13,030,837	0

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計		
I 一般正味財産の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	0	0	0	30,000	30,000	0	30,000
基本財産受取利息	0	0	0	30,000	30,000	0	30,000
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	7,569	7,569
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	7,569	7,569
③ 事業収益	138,587,490	115,967,696	20,384,400	0	274,939,586	43,264,814	318,204,400
埋蔵文化財発掘調査事業収益	138,587,490	0	0	0	138,587,490	20,202,510	158,790,000
埋蔵文化財出土品整理事業収益	0	115,967,696	0	0	115,967,696	23,062,304	139,030,000
管理運営事業収益	0	0	14,882,400	0	14,882,400	0	14,882,400
その他事業収益	0	0	5,502,000	0	5,502,000	0	5,502,000
④ 雑収益	0	0	583,530	0	583,530	0	583,530
雑収入	0	0	583,530	0	583,530	0	583,530
経常収益計	138,587,490	115,967,696	20,967,930	30,000	275,553,116	43,272,383	318,825,499
(2) 経常費用							
① 事業費	138,606,118	115,986,244	20,968,323	0	275,560,685	0	275,560,685
報酬	7,959,374	0	0	0	7,959,374	0	7,959,374
給料	16,635,634	25,067,051	2,040,300	0	43,742,985	0	43,742,985
職員手当	9,438,480	15,557,263	3,231,584	0	28,227,327	0	28,227,327
共済費	4,122,741	6,466,078	2,260,733	0	12,849,552	0	12,849,552
貸金	36,922,738	41,200,493	2,658,358	0	80,781,589	0	80,781,589
報償費	0	161,300	88,200	0	249,500	0	249,500
旅費	1,332,648	154,750	270,299	0	1,757,697	0	1,757,697
需用費	4,141,535	10,119,825	3,524,854	0	17,786,214	0	17,786,214
役務費	700,856	1,157,221	115,763	0	1,973,840	0	1,973,840
委託料	197,100	3,010,284	4,537,137	0	7,844,521	0	7,844,521
使用料及び賃借料	47,471,284	1,415,232	817,265	0	49,703,781	0	49,703,781
備品購入費	0	0	0	0	0	0	0
負担金	0	0	0	0	0	0	0
公租公課	0	1,800	400	0	2,200	0	2,200
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費	3,405,180	4,258,485	464,000	0	8,127,665	0	8,127,665
消費税	6,278,548	7,416,462	859,430	0	14,554,440	0	14,554,440
② 管理費						43,264,814	43,264,814
報酬						0	0
給料						12,468,015	12,468,015
職員手当						6,743,874	6,743,874
共済費						4,955,198	4,955,198
貸金						4,991,748	4,991,748
報償費						172,800	172,800
旅費						404,041	404,041
需用費						6,012,493	6,012,493
役務費						1,544,554	1,544,554
委託料						540,000	540,000
使用料及び賃借料						935,951	935,951
負担金						51,000	51,000
公租公課						1,000	1,000
福利厚生費						1,020,058	1,020,058
退職給付費						988,422	988,422
消費税						2,435,660	2,435,660
経常費用計	138,606,118	115,986,244	20,968,323	0	275,560,685	43,264,814	318,825,499
当期経常増減額	△ 18,628	△ 18,548	△ 393	30,000	△ 7,569	7,569	0
2. 経常外増減の部						43,264,814	
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 18,628	△ 18,548	△ 393	30,000	△ 7,569	7,569	0
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	3,030,837	3,030,837
一般正味財産期末残高	△ 18,628	△ 18,548	△ 393	30,000	△ 7,569	3,038,406	3,030,837
II 指定正味財産の部							
基本財産運用収益	0	0	0	30,000	30,000	0	30,000
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 30,000	△ 30,000	0	△ 30,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	10,000,000	10,000,000	0	10,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	10,000,000	10,000,000	0	10,000,000
III 正味財産期末残高	△ 18,628	△ 18,548	△ 393	10,030,000	9,992,431	3,038,406	13,030,837

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は存在していない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、移動平均法による原価法を採用しており、金額の重要性が乏しいため償却原価法を適用していない。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

当方では棚卸資産は所有していない

(3) 固定資産の減価償却の方法

減価償却は定額法による。(ただし、当方では減価償却を必要とする資産を所有していない。)

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金については、退職時の予想給付額のうち、期末時点までの期間に対応する額を基本として計上している。

(5) リース取引の処理方法

金額の重要性が少ないため、通常の賃貸借取引に係る方法で処理している

(6) 消費税等の会計処理

消費税は税込方式を選択している

3. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	9,990,000	0	0	9,990,000
定期預金	10,000	0	0	10,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	91,084,412	9,116,093	32,129,384	68,071,121
長期未収入金		8,872,835		8,872,835
小 計	91,084,412	17,988,928	32,129,384	76,943,956
合 計	101,084,412	17,988,928	32,129,384	86,943,956

長期未収入金は退職給付引当資産の不足額であり今後計画的に積み立てていく予定である。

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
有価証券	9,990,000	(9,990,000)	—	—
定期預金	10,000	(10,000)	—	—
小 計	10,000,000	(10,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	68,071,121	—	—	(68,071,121)
長期未収入金	8,872,835	—	—	(8,872,835)
小 計	76,943,956	—	—	(76,943,956)
合 計	86,943,956	(10,000,000)	—	(76,943,956)

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産 有価証券(第98回利付国債)	9,990,000	10,010,000	20,000
合 計	9,990,000	10,010,000	20,000

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益の振替額	30,000
合 計	30,000

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

種 類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有の割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員・兼務等	事業上の関係				
当法人を支配する法人	徳島県	徳島市万代町1丁目1	—	—	—	理事 2人 監事 1人	全業務の受託	発掘調査業務等の受託	318,204,400 円	未収金	18,213,200 円

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営業務については、平成18年度から当財団が指定管理者として選定されている。発掘調査等の業務については、財団の職員体制等を勘案し、必要経費を積算の上、見積書を提出している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

財務諸表の注記に記載している。